

外郭団体経営健全化方針の概要と取り組み状況

【名古屋高速道路公社】

経営状況及び経営方針の記載内容	令和元年度の取り組み結果
今後の経営環境を見据え、都市交通施設としての基盤を確かなものにするとともに、利便性やサービスの一層の向上等を図るため、現計画に引き続き 2019 年度から 3 年間を計画期間とする次期中期経営計画の策定に向け検討を進めており、2019 年度以降は新たな計画に基づいて、引き続き必要な取組を推進する	- 前期中期経営計画の進捗・達成事項や今後 10 年間の長期見通しを踏まえ、名古屋市周辺高速道路ネットワークの完成やリニア中央新幹線の開業等を視野に入れて“名古屋高速は、進化する「名古屋都市圏」を支えます”を中期経営方針とする「中期経営計画（2019-2021）」を令和元年 7 月に策定した。 - 計画に定めた各施策においては可能な限り数値目標や達成時期目標を設定し、着実に推進した。令和元年度は計画の初年度に当たるが、当該年度の目標を概ね達成した。
名古屋市は、（公社が定める次期）中期経営計画に盛り込まれた取組が着実かつ発展的に実施されるように指導・支援を行うとともに、地方道路公社法に基づく指導・監督や、道路整備特別措置法に基づく道路管理者としての関与などにより、引き続き公社の健全経営を図る。	- 公社の中期経営計画に盛り込んでいる、都心へのアクセス向上や、より利用しやすい料金に関する取り組み等が着実かつ発展的に実施されるように指導・支援を行った。 - 公社の長期借入金や債券に対する債務保証を始めとする財政的支援を行うとともに、借入金の返済状況等により、健全な経営状況であること確認した。

団体名(名古屋高速道路公社)

○法人の財務状況

(貸借対照表から)

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
資産総額	1,689,433,374	1,695,976,857	1,688,009,500
負債総額	1,371,590,374	1,378,013,857	1,369,971,500
純資産総額	317,843,000	317,963,000	318,038,000

(損益計算書から)

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
経常収益	76,523,191	78,236,502	77,767,480
経常費用	76,523,191	78,236,502	77,767,480
経常損益	0	0	0
経常外損益	0	0	0
当期純損益	0	0	0

○財政的リスクの状況

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
債務超過額	0	0	0
損失補償、債務保証及び 短期貸付けの合計額(A)	293,932,536	286,029,243	277,977,147
標準財政規模(B)	642,220,441	644,498,894	646,827,243
(A)／(B)	0	0	0